



平成21年1月7日

各 位

会 社 名 日本紙パルプ商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 松谷 克
(コード番号8032 東証第1部)
問合せ先 専務取締役管理本部本部長
伊藤 泰明
(TEL. 03-3270-1311)

平成21年3月期 第3四半期末の投資有価証券評価損に関するお知らせ

当社は、「その他有価証券」に区分される投資有価証券のうち、時価が著しく下落しその回復が困難であると認められるものについて、平成21年3月期第3四半期末において減損処理による投資有価証券評価損（特別損失）を計上する必要が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期第3四半期末の投資有価証券評価損の総額

| | 連結 | 個別 |
|---------------------------------------|---------------------|---------------------|
| (A) 平成21年3月期第3四半期末の投資有価証券評価損の総額 | 786百万円 | 784百万円 |
| (B) 平成20年3月期の純資産の額 (A/B×100) | 65,083百万円 (1.2%) | 56,835百万円 (1.4%) |
| (C) 平成20年3月期の経常利益額 (A/C×100) | 7,144百万円 (11.0%) | 5,604百万円 (14.0%) |
| (D) 平成20年3月期の当期純利益額 (注2) (A/D×100) | 1,500百万円 (52.4%) | 1,629百万円 (48.1%) |

- (注) 1. 当社の第3四半期末は、12月31日であります。
2. 個別につきましては、最近終了した事業年度の当期純利益額が10億円未満（723百万円）であるため、当期純利益額は最近5事業年度の平均としております（赤字の事業年度はゼロとして平均を計算しております）。
3. 四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理にあたっては、四半期洗替え法を採用しているため、平成21年3月期においては、投資有価証券評価損の計上額が変動する場合があります。

2. 今後の見通し

平成21年3月期の通期業績予想につきましては、現在集計中であり、見通しが明らかになり次第、お知らせいたします。

以 上